





では早速
貴方のモノを
いただきますね

おっほ♡♡

さくさくさく！

あ、アリスさん？
大丈夫そう？



だい、じょう、ぶ
ですっ！

少々勢いがすぎた
せいで驚いただけです

痛かったんだな…

無理しない方
がいいよ

俺はいつでも
ここにいるし

いつだって君を
受け入れる準備は
しておくからさ



せっかく初めての
貴方との契りなので

この程度の痛みで
台無しにしたくあり
ませんっ！

絶対、素敵な一晚に
するのですっ！

か、かわいっ！
このお姫様っ！



分かったよっ♡
アリスさんっ♡

絶対きみを
気持ちよく
してみせるっ

あっ♡
急に下から
突き上げてっ！

おっ♡
奥に当たってます♡



これがっ♡
運命とのまぐわい…♡

なんだか子宮
あたりが温かい♡

はい♡
段々と貴方を感じる
余裕が出来てきました♡

あ♡

どうかっ♡
気持ちよくなっ
てきた？

んっ♡
たしかにコレは
気持ちがいいですね♡

そっか♡
じゃあもう一段階
ギア上げちゃおっか♡



こ、これはあ
まずいですね♡

キスハメ♡
ただキスが加わった
だけだというのに

この多幸感♡
ハマってしまいそう♡

俺もいま
すっごい幸せな
気分だよ♡

アリスさんの膣内は
ふわとろだし♡

エッチに貪欲な
お姫様だし♡

あっ♡だめっ
もっとキスするのです♡

あんっ♡
誰が貪欲なんですかあ♡

私から離れちゃ
ダメですよ♡

さらに甘えん坊な
お姫様だね♡

頭が蕩けていって
馬鹿になって
しまいそう♡

